

ID: 患者氏名: 様

症状: 西6A 病棟 号室

日付	月 日(火)	月 日(水)	月 日(木)	月 日(金)	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()			
経過	入院当日	CVポート造設日	リツキサン投与当日	化学療法当日	化学療法終了後						退院日			
	1病日	2病日	3病日	4病日	5病日	6病日	7病日	8病日	9病日	10~15病日	16病日			
治療スケジュール	入院時に化学療法に向けて、 いろいろな検査を行います。	CVポート造設を施行します。 看護師が処置室までご案内 します。	リツキサンを投与します。 アレルギー出現予防のための前投薬を 投与します。 リツキサンは10時頃から投与を 開始し、問題なければ15時頃 投与が終了します。	化学療法のオンコピン、ドキソルビシン、 エンドキサンを投与します。 副作用予防の制吐剤とステロイド薬を投与します。 5日間プレドニゾロンを内服します。	髄注		CVポート の抜糸		副作用症状がなく、採血 結果がよければ退院とな ります。					
目標	治療について理解できる	疼痛出現時早期対処することがで きる	予定どおり治療が終了する 		副作用症状出現時早期対処することができる						退院できる			
検温	入院時、身長と体重を 測定します。	処置終了後に検温をします。	リツキサン投与中は1時間毎 に検温します。 1日2回体重測定を行い、 ()kg以上で利尿剤を投与します。	1日2回検温を行います。	1日2回検温を行います。									
処置・測定	・胸部レントゲン撮影を行います。 ・12誘導心電図を行います。 ・採血・採尿など適宜お伝えします。	・ポート造設を行います。	リツキサン投与開始から終了から 2時間は心電図モニターを装着し、 波形の観察を行います。	1日3回食前に血糖測定を行い、151mg/dl以上の時はインスリンを注射します。 採血結果をみながら点滴をします。								退院が決まったらポート を抜去します。		
説明・指導	入院生活について説明します。 医師から治療に関しての説明が あります。	化学療法について、副作用および 予防法・出現時の対処法について 説明します。 CVポート造設後の疼痛の対処につ いて説明します。	リツキサンの副作用症状について 説明します。		退院指導をおこないます。									
食事	入院中は病院食のみを摂取します。 CVポート造設に伴う食事中止の必要はありません。		化学療法中、食欲がない時は食事内容は変更できるので希望があれば看護師に伝えてください。 お薬がのみづらいときは代わりの注射や点滴をします。											
生活・行動	歩行は自由です 毎日シャワー浴を行いましょう。お体が辛いときは体拭きを行います。 感染予防のため手洗い・含嗽をしっかり行いましょう。													
その他	【抗癌剤の副作用症状について】 ・リツキサン アレルギー症状が出現しやすいです。投与開始～24時間以内に出現します。 発熱・悪寒・悪心・発疹・血圧低下・呼吸困難・咳嗽など →抗アレルギー薬、ステロイド剤を投与します。 ・エンドキサン 出血性膀胱炎 →尿量確保のため、生理食塩水を点滴します。 ・オンコピン 手足のしびれ、便秘 →しびれが強い時はしびれ予防の薬をのみます。便秘時には緩下剤を使用します。 ・プレドニゾロン(ステロイド剤) →高血糖、不眠			【その他副作用症状】 ・悪心・嘔吐 →制吐剤の投与、食事内容の変更、必要時栄養の点滴を行います。 ・口内炎 →うがい、歯磨きの指導を行います。必要時はうがいの水を変更します。 ・血球減少 白血球が低下すると、病原菌に対する抵抗力が低下し感染症を起こしやすくなります。 →白血球回復のため、ノイトロジンというお薬を注射します。感染予防について指導します。 また予防のため抗生剤の投与を検討します。 →必要に応じて輸血を投与します。 ・脱毛 治療開始から2～3週間で抜け始めます。 →長い髪はあらかじめカットしておくのもよいでしょう。帽子をお渡しします。			特に感染予防には注意が必要です。 治療により、免疫力が低下し風邪を 引きやすい状態になってしまうため、 日頃から手洗いとうがいを丁寧 に行い、習慣づけるようにしましょう。 							

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。